

地域構造とその長期的変化過程に関するシステム論的分析に関する
一考察

——大都市圏を対象として——

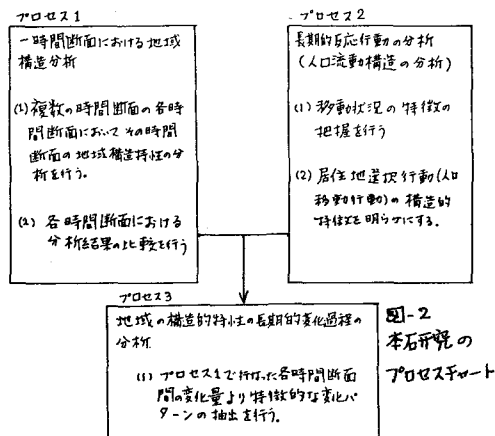
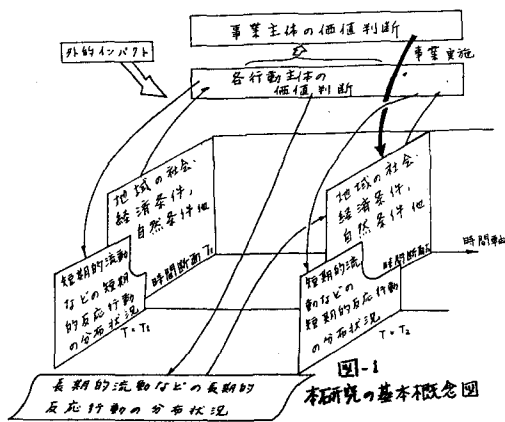
京都大学工学部 正 員 吉川和広

京都大学工学部 正 員 春名 攻

建設省 正 員 望月明夫

1はじめに——都市・地域計画においては状況をシステム論的に分析し、それらの地域特
の構想計画の段階において、対象となる地域性の変化と密接な関連関係にある「人」の居住地
の適切なモデル認識とそのモデルの挙動特性選択・行動の行動科学的分析を行なった。
に関する情報を初歩的に利用すること、計 また本研究では分析対象として、京浜京阪
画策定にとって重要であると考えた。この神といて日本の代表的な2つの大都市圏を選
う観点より本研究においてはその第一段階とし、図-2に示すようなプロセスチャートに
として、地域をモデル認識し記述していくに従って分析を行なった。以下にこれらの分析
めの重要な情報を求めるために、地域の構造について述べていくこととする。

時特性とその長期的変化過程をシステム論的2.一時間断面における地域の構造的性質の分
に明らかにした。すなわち図-1に示すような析——本分析ではある一時間断面における
基本概念に従ってまず①地域をそれを構成する地域の構造的性質の分析においては、地域の
るいくつかの単位地区の集まった一つの有機諸活動をその活動の主体が当該時間断面にお
的システムと考えますその静的な側面における地域の社会・経済的条件などに対して行う
てこのシステムをモデル認識し記述していく反応行動の現われと考へた。そしてそのよう
ため重要な情報を求めることをねらいとし、な反応行動のうち地区間の機能的有機的な結
システムを構成する要素を抽出した。そして合関係を最も端的に反映する短期的流動のう
これらの要素間の関連関係を同定することから圏域構成にと、と基本的で重要な「人」の通勤
めざして種々の分析を行なった。②次に、動流動現象に着目し、地区の圏域的なまとまり
的な視点からシステムの動特性を明らかにすとして把握した。次にこのような活動の生ず
ることを目的として種々の地域特性の変化する基盤となる地域地区の社会・経済的な活動・集



Kazuhiko YOSHIKAWA

Mamoru HARUNA

Akihiko MOCHIZUKI

積状況に着目し、主成分分析・クラスター分析を適用し、圏域における等質地域の空間的構成状況に対して検討を加え、最後に両者の関連関係を分析した。これらの分析の結果京阪神都市圏においては大阪都心部京都都心部神戸都心部を中心とした通勤圏が、京浜都市圏においては東京都心部横浜都心部を中心とした通勤圏が構成され、東京大阪通勤圏は内部に下位の通勤圏を含む多重多階層の構造をしていることが明らかになった。また等質地域の空間的分布状況は上述の都心部を中心の中核地域→都市型住宅地域工業地域→住宅地域と外側に变化する同心円的構成となり、両都市圏ともほぼ同様な圏域構成をなしていることが明らかとなった。なお分析の詳細については別稿で述べることにし、ここで分析結果の一例を図-3に示すこととする。

3. 長期的な視点からの地域構造の变化過程の分析——前記したように本研究においては大都市圏地域の諸活動を地域地区における社会経済的条件などの各種条件に対して行動主体が反応した結果の現われであると解釈した。このような反応行動のうち長期的な反応行動は逆に直接的・間接的に地域の社会経済システムに影響を及ぼし、地域の様々な条件を変化させると考えられる。本分析はこのような長期的な反応行動のうち居住地選択行動に着目

し、その構造的な特性を明確化するとともに、地域の構造的な特性の時間的変化過程を分析することを目的として次のような手順で分析を行なった。すなわち①2で述べた一時間断面の分析を2つの時間断面で行ない各時間断面における地域構造特性の時間的変化を分析するとともに、2時間断面間の指標の変化量にも着目した若干の分析を行ない京浜都市圏京阪神都市圏の2つの大都市圏における特徴的な変化パターンの抽出を行なった。次に②長期的な反応行動として居住地選択行動に着目し、昭和52年度の就業構造基本調査報道マスターテープより東京通勤圏大阪通勤圏に居住する世帯主をサンプルとして抽出し図-4に示すフローチャートに従って各行動主体の個人属性と選択した地域の地域特性との関連関係をクロス表分析・数量化理論2類・パス解析等の手法を適用して明らかにすることにより、居住地選択行動の特性を分析した。

これらの分析の結果については、本稿において紙面の制約上具体的に示すことが出来なかつた点や今後の課題等とともに講演時に述べることにする。

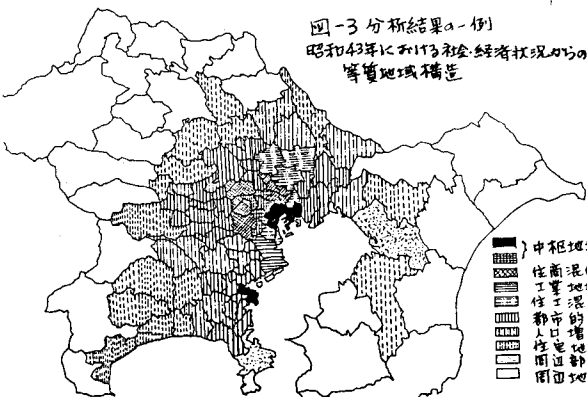


図-3 分析結果の一例
 昭和43年における社会経済状況からの等質地域構造

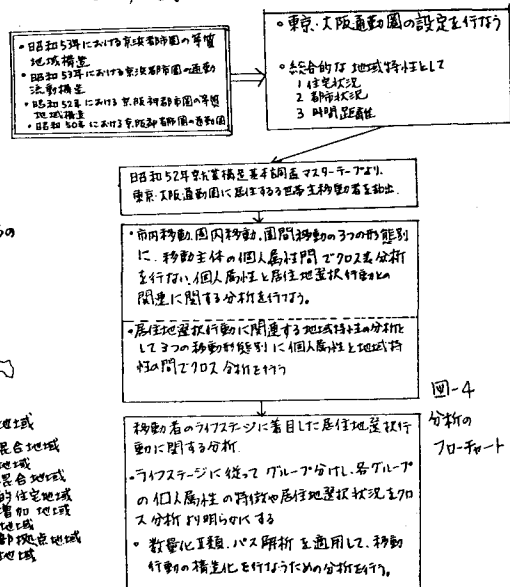


図-4
 分析の
 フローチャート